

2016年5月17日(火)

問題発見技法

3. KJ法

堀田 敬介

KJ法

- Contents
 1. KJ法とは何か？
 2. KJ法の実施手順
 3. KJ法の実行

1. KJ法とは何か？

- KJ = 川喜田次郎
 - 一見まとめようもない多様な事実(情報)をありのままに捉え、構造的に組み立てることにより、新しい意味を発見する創造の技法であり、発想法である

情報の紙切れ化

このプロセスを経ることで **シナジー効果**が得られる

情報の再統合

1. 量的効果 ... $1+1=3$
2. 質的効果 ... $A+B=C$

情報の文章化

シナジー効果とは？

妥協 ✗

相乗効果！ ◎

KJ法は、「結果」ではなく「プロセス」が大事！

1. KJ法とは何か？

- **発想**とは二段階で行われる

- ✓ 認知
- ✓ 知覚
- ✓ 直感

第一段階
ひらめき

▶ 発想・認知を広げる
 ・自由な発想
 ・新しいアイデアの発見
 ・関連のない考えを並べる(連想)
 ・新しい観点でものをみる

- ✓ 判断
- ✓ 理由
- ✓ 評価

第二段階
利用・発展

▶ 集中発想、発想をより優れたものに
 ・発見したアイデアの集中判断
 ・論理的に追求
 ・分類・比較・分析
 ・新しい観点でものをみる

KJ法

情報の紙切れ化

↓

情報の再統合

↓

情報の文章化

2. KJ法の実施手順

- KJ法の手順
 - Step0: 主題(議題)設定, 情報収集
 - Step1: 紙切れづくり
 - Step2: グループ編成
 - Step3: A型図解
 - Step4: B型文章化

2. KJ法の実施手順

- Step1: 紙切れづくり
 - 独立した最小限の意味を持つセンテンスで紙切れを作成
 - 5W1Hが盛り込まれた簡潔な表現で
 - 見落としがないように綺麗に並べる
- 例: 完全生産運動全員参加に当たっての準備方法([1] 付録④より作成)

グループによる集団目標の設定を行う	規律, 礼儀を重んじよう, 守ろう	整理・整頓は空間を利用しよう
納期だけが優先されているために他の重要なものが見落とされている	仕事に張りのあること, もてることは重要なことだ	全行程の仕事を経験するのがよい
運動の趣旨・内容・考え方を全員によく納得させる	治工具の整備が悪いとゴミ, 汚れは多くなる	...

2. KJ法の実施手順

- Step2: グループ編成
 - 2-1: 小グループ編成 ... 2~3枚の紙切れで, 一つの小グループ
 - 2-2: 中グループ編成 ... 2~3枚の紙切れ・小グループで, 一つの中グループ
 - 2-3: 大グループ編成 ... 2~3枚の紙切れ・小・中グループで, 一つの大グループ
- 一つ一つの紙切れをじっくり眺め, ボトムアップでグループをつくる
- グループにしたなら, 集まった紙切れ達の訴えたい真意を表現した文章を考え, それを書いた紙切れを新たに作り, その紙切れを一番上にしてクリップで留める. この作業を続けてグループを大きくしていく
- 集まった紙切れは, 本当に最もらしい(グループとしてふさわしい)かを考える. なぜもっともらしいのかの理由を言えなければ駄目
- 最終的なグループ数は3程度がよい
- × 注: 全体を眺めてトップダウンに分類分けしてグループ化しては駄目(そのやり方はKJ法ではない)

2. KJ法の実施手順

- Step2: グループ編成
 - 2-1: 小グループ編成 ... 2~3枚の紙切れで, 一つの小グループ
 - 2-2: 中グループ編成
 - 2-3: 大グループ編成

小グループにしたなら, 集まった紙切れ達の訴えたい真意を表現した文章を考え, それを書いた青紙切れを新たに作り, その青紙切れを一番上にしてクリップで留める

2. KJ法の実施手順

□ Step2: グループ編成

- 2-1: 小グループ編成 ... 2~3枚の紙切れで、一つの小グループ
- 2-2: 中グループ編成
- 2-3: 大グループ編成

どうしてもまとまらない紙切れ達は一匹狼として残してよい

小グループにしたら、集まった紙切れ達の訴えたい真意を表現した文章を考え、それを書いた青紙切れを新たに作り、その青紙切れを一番上にしてクリップで留める

2. KJ法の実施手順

□ Step2: グループ編成

- 2-1: 小グループ編成
- 2-2: 中グループ編成 ... 2~3枚の紙切れ・小グループで、一つの中グループ
- 2-3: 大グループ編成

中グループにしたら、集まった紙切れ・小グループ達の訴えたい真意を表現した文章を考え、それを書いた赤紙切れを新たに作り、その赤紙切れを一番上にしてクリップで留める

2. KJ法の実施手順

□ Step2: グループ編成

- 2-1: 小グループ編成
- 2-2: 中グループ編成 ... 2~3枚の紙切れ・小グループで、一つの中グループ
- 2-3: 大グループ編成

中グループにしたら、集まった紙切れ・小グループ達の訴えたい真意を表現した文章を考え、それを書いた赤紙切れを新たに作り、その赤紙切れを一番上にしてクリップで留める

どうしてもまとまらない紙切れ・小グループ達はそのままよい

2. KJ法の実施手順

□ Step2: グループ編成

- 2-1: 小グループ編成
- 2-2: 中グループ編成
- 2-3: 大グループ編成 ... 2~3枚の紙切れ・小・中グループで、一つの大グループ

大グループにしたら、集まった紙切れ・小・中グループ達の訴えたい真意を表現した文章を考え、それを書いた緑紙切れを新たに作り、その緑紙切れを一番上にしてクリップで留める

2. KJ法の実施手順

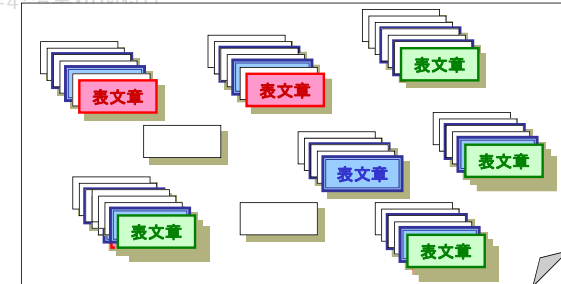
- Step3: A型図解 : 各グループを, 用紙上に配置・図解化
 - 3-1: 空間配置
 - 3-2: インデックス図解
 - 3-3: 展開: はらわた出し
 - 3-4: 清書・のり付け

「議題: ○○を△▽するにはどうすれば?」

作成: ○年○月○日
 作成者: ○△◆×▽

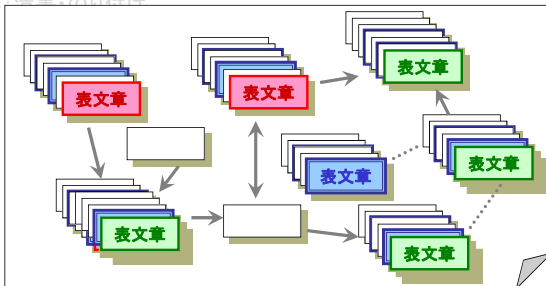
2. KJ法の実施手順

- Step3: A型図解
 - 3-1: 空間配置
 - 3-2: インデックス図解
 - 3-3: 展開: はらわた出し
 - 3-4: 清書・のり付け



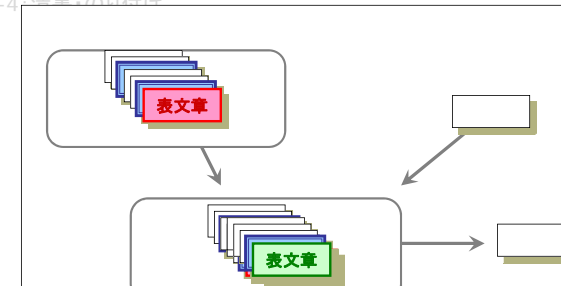
2. KJ法の実施手順

- Step3: A型図解
 - 3-1: 空間配置
 - 3-2: インデックス図解
 - 3-3: 展開: はらわた出し
 - 3-4: 清書・のり付け



2. KJ法の実施手順

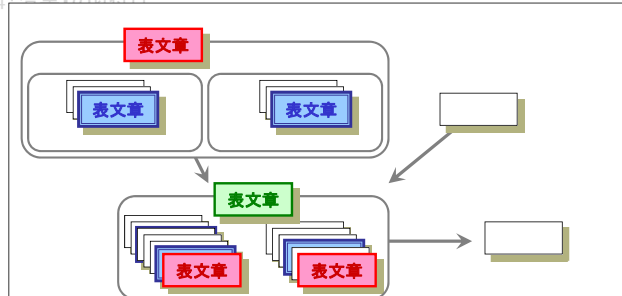
- Step3: A型図解
 - 3-1: 空間配置
 - 3-2: インデックス図解
 - 3-3: 展開: はらわた出し
 - 3-4: 清書・のり付け



2. KJ法の実施手順

Step3: A型図解

- 3-1: 空間配置
 - 3-2: インデックス図解
 - 3-3: 展開: はらわた出し
 - 3-4: 清書・のり付け
- } 全ての紙切れが展開されるまで繰り返し

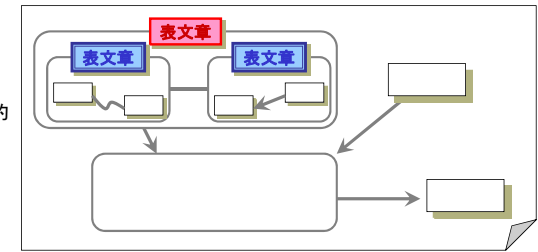


2. KJ法の実施手順

Step3: A型図解

- 3-1: 空間配置
- 3-2: インデックス図解
- 3-3: 展開: はらわた出し
- 3-4: 清書・のり付け

- <記号例>
- 関係あり
 - ← 因果関係
 - ↔ 相互に因果的
 - ⊥ 相反する
 - ∩ 同じ
 - etc.



2. KJ法の実施手順

Step4: B型文章化

- A型図解をもとに判明・発見したことを文章化する
 - たとえば, A型図解の解釈順・記号の説明順に文章化する
 - 叙述と解釈を区別して書く
 - 集めてきたデータと自分の意見の区別ははっきりさせておく
 - 図解に盛り込まれている言葉, 図解の過程, 後で気づいたメモなどをなるべくそのままの形で文章に盛り込む

Step4': 省略B型文章化

- Step3のA型図解でKJ法を終わらせ, B型文章化は行わない. そのかわり, プレゼン等の口頭説明を行う

3. KJ法の実行

演習: まずはともかくやってみよう!

- 例題: セントルイスの床屋 (出展:[1] p.57~)

街中でときおり目にとまる星条旗が, 床屋の片隅にもあった	老人も老人客もアメリカの市民権を持っているとのこと	老人たちはその昔, 自分の意志でアメリカにやってきたときのことを誇らしげに話してくれた
床屋の老人客は, アルバニア生まれだそうだ	老人も老人客も「自由」とか「民主主義」という言葉を好んで使う	老人客の一人息子は, ずっと以前に家を飛び出し今はカリフォルニアで建築事務所をやっているそう
入ってきた老人客は, ギリシャ人だと名乗った	老人の息子もアルバイトをしながら大学へ通っているが家にはほとんど寄りつかないとのこと	「若者のやることには逆らえぬ」と老人たちは寂しげにうなずき合った
老人たちは, 年の割には若作りである		

3. KJ法の実行

□ Step2:グループ編成(紙切れ → 小グループ)

街中でときおり目にとまる星条旗が、床屋の片隅にもあった	老人たちはその昔、自分の意志でアメリカにやってきたときのことを誇らしげに話してくれていた	理想とシンボルが好き?
床屋の老人は、アルバニア生まれだそう	老主人も老人客も「自由」とか「民主主義」という言葉を好んで使う	息子たちは、自分で自分の道を選んでいく
入ってきた老人客は、ギリシヤ人だと名乗った	老人客の一人息子は、ずっと以前に家を飛び出し今はカリフォルニアで建築事務所をやっているそうだ	若さは美德
老人たちは、年の割には若作りである	老主人の息子もアルバイトをしながら大学へ通っているが家にはほとんど寄りつかないとのこと	
老主人も老人客もアメリカの市民権を持っているとのこと	「若者のやることには逆らえぬ」と老人たちは寂しげにうなずき合った	

3. KJ法の実行

□ Step2:グループ編成(小 → 中グループ)

理想とシンボルが好き?

自由な選択が彼らの伝統

息子たちは、自分で自分の道を選んでいく

老主人も老人客もアメリカに来てアメリカ人になった

原点は未来に?

若さは美德

老人も老人客もよそ者人種

老人たちはその昔、自分の意志でアメリカにやってきたときのことを誇らしげに話してくれていた

老主人も老人客も「自由」とか「民主主義」という言葉を好んで使う

老人客の一人息子は、ずっと以前に家を飛び出し今はカリフォルニアで建築事務所をやっているそうだ

老主人の息子もアルバイトをしながら大学へ通っているが家にはほとんど寄りつかないとのこと

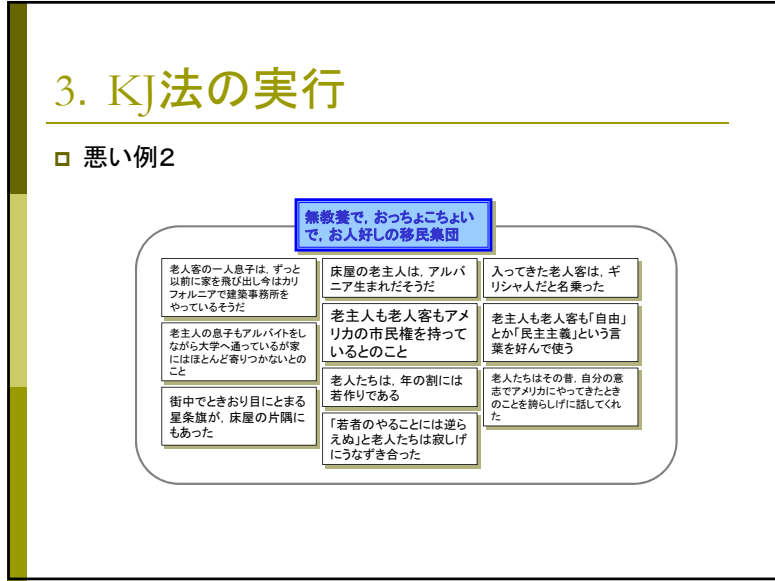
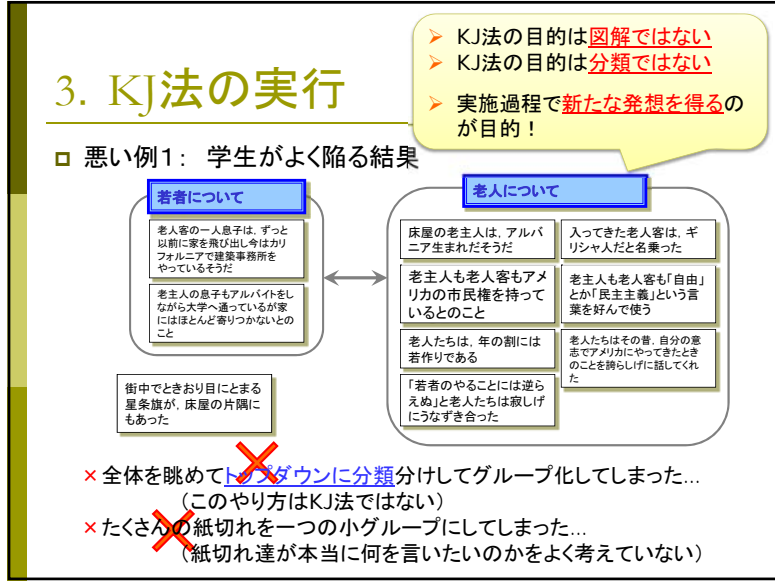
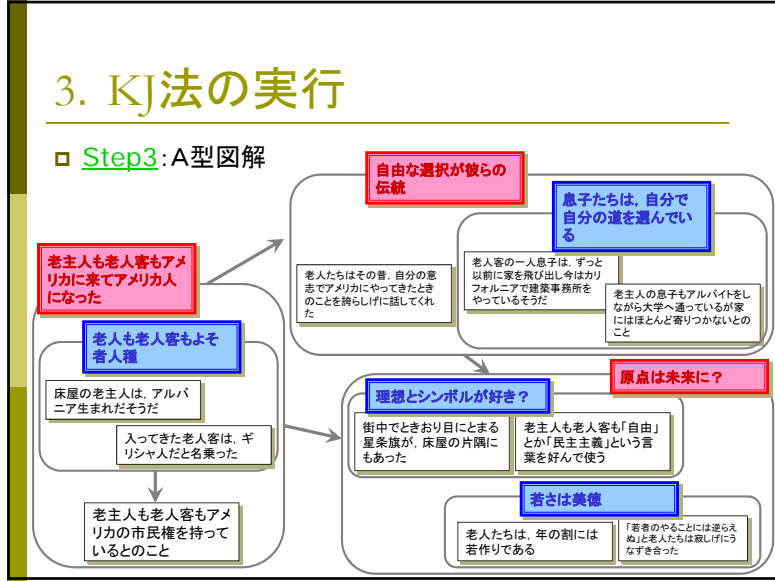
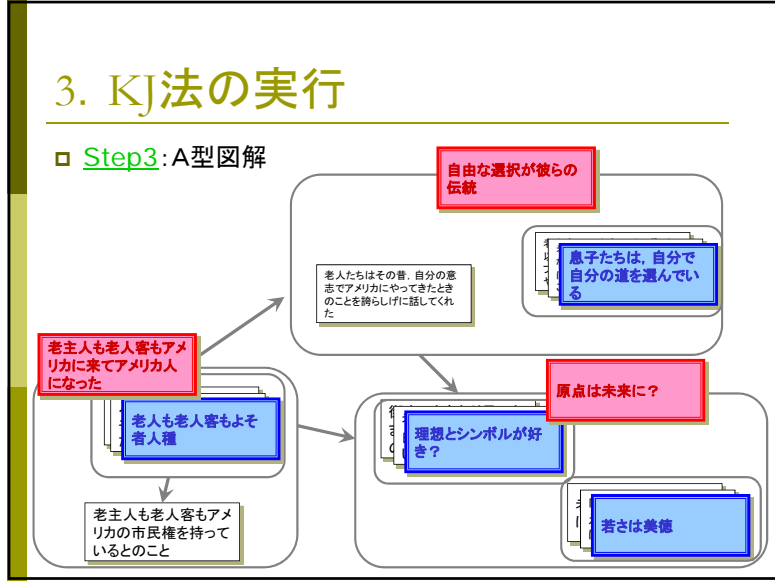
「若者のやることには逆らえぬ」と老人たちは寂しげにうなずき合った

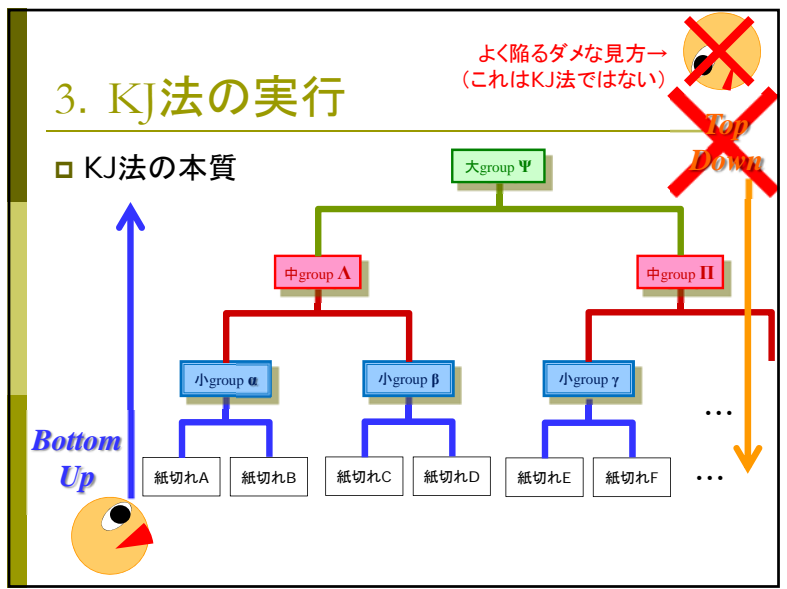
3. KJ法の実行

□ Step3:A型図解

3. KJ法の実行

□ Step3:A型図解





参考文献

- [1] 日本能率協会編「経営のためのKJ法入門」日本能率協会(1971.11)
- [2] 松尾隆「グループKJ法入門」日本能率協会(1973.5)
- [3] 「川喜田次郎著作集4 発想法の科学」中央公論社(1995.9)
(以下の著作を含む)
 - 川喜田次郎「発想法」中公新書(1967.6)
 - 川喜田次郎「続・発想法」中公新書(1970.2)
- [4] 「川喜田次郎著作集5 KJ法」中央公論社(1996.5)